

長崎県長期人口ビジョン（令和元年度改訂版）の概要について

長崎県長期人口ビジョン（H27.10）

総人口の現状・将来推計

- ・1960年：176万人をピークに、2010年：143万人に減少
- ・社人研準拠推計では、2060年：78万人まで減少

目指すべき将来の方向性（総合戦略で具体化）

人口ビジョン（人口の将来展望）

2040年に社会移動を均衡させる

= 2040年に転入と転出が同数となる社会均衡を実現

2030年に希望出生率2.08を達成

= 県民の結婚・出産等に関する希望を2030年に実現

2060年に人口100万人規模確保

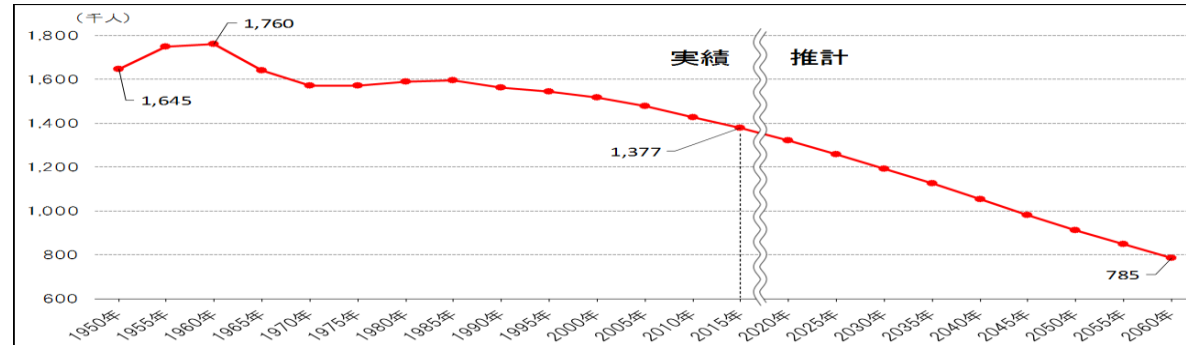
今回の改訂の背景

H27国勢調査の結果や社人研の地域別将来推計人口（H30.3）の公表を踏まえ、時点修正を行うもの

長崎県長期人口ビジョン（令和元年度改訂版）

本県人口の推移及び将来推計

- ・H27国勢調査結果によると、本県の総人口は2015年：138万人
- ・社人研H30推計によると、2060年の将来推計人口は79万人
- ・いずれも前回ビジョン+1万人となったが、国勢調査が実施されたH27年には大型客船建造に伴う一時的な外国人の増加があった影響と考えられる。



人口の将来展望

- ・第1期総合戦略では、一部成果が見られるものの人口減少抑制には至っていない。
- ・一方、第2期以降の総合戦略で、第1期分の目標も含めて転出超過改善に努めることで、2060年人口100万人を確保できる可能性が見込まれる。

⇒「2040年社会均衡」「2030年希望出生率2.08」「2060年人口100万人」は継続

